

## 既修得単位の認定について【第2部】 (一般入試合格者用)

大学または短期大学の卒業生や中途退学により他大学の単位を修得している方のうち、単位認定（本学の単位への読み替え）を希望する場合は、下記のとおり申請してください。（提出期限後の申請は受け付けていません。）

### 1. 受付期間

2026年4月6日（月曜）まで

窓口で提出するか郵送で申請してください。郵送の場合は、封筒の表に「単位認定願書在中」と朱書きの上、受付期間内に必着するように手続きをしてください。

【送付先】〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1 学生支援・教育グループ

### 2. 提出資料

	提出資料	摘要
1	単位認定願書	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
2	成績証明書	出身学校が作成し厳封したもの（コピー不可）
3	講義概要（シラバス）	「単位認定願書」に記入した科目の講義概要が掲載されている箇所を目印をつけて提出してください（コピー可）。
4	戸籍抄本 (※該当者のみ)	※ 婚姻等により成績証明書の姓名が異なる方のみ提出してください（コピー不可）。

### 3. 認定対象の科目分類・認定上限

科目分類	概要	認定上限 単位数	卒業必要 単位数
兼修語学	本学では、専攻語学に加え、第2外国語の履修を求めています。（Ⅰ階程は1年生、Ⅱ階程は2年生で履修します。）	8単位	8単位
全学共通科目	人文、社会科学、自然・人間科学の各領域にまたがる一般教養科目です。（卒業までに各領域から少なくとも1科目の単位取得が必要ですが、ご入学後、必履修科目として自然・人間科学領域から2科目「キャンパスライフ入門」「データサイエンス入門」という授業を履修いただきます。）	8単位	12単位

### 4. 認定対象科目 裏面のとおり。

### 5. 認定結果通知時期と履修登録時の注意

認定結果通知は6月上旬を予定しております。単位認定の審査結果が履修登録には間に合いませんので、単位認定の申請をされる科目については、ひとまず履修登録されないことをお勧めいたします。

但し、兼修語学の単位認定を申請される方につきましては、必修科目のため、事前に事務局にて登録された授業の受講を続けてください。単位が認定されましたら、ご連絡の後、履修中止の扱いといたします。この場合、後期は当該時限に授業を履修いただけますが、前期については当該時限が空くこととなりますことをご承知おきください。また、兼修語学Ⅰ階程のみが単位認定された場合、次年度同じ言語のⅡ階程を履修いただくこととなります。ご自身で学修を続け、Ⅰ階程のレベルを保持していただく必要がございますことにご留意ください。

科目分類	科目名称
兼修語学 (各科目2単位)	<p>(Ⅰ階程) ※ [1]・[2] を一括して認定 (個別認定は不可)</p> <p>兼修ロシア語Ⅰ [1]      兼修ロシア語Ⅰ [2]            兼修中国語Ⅰ [1]      兼修中国語Ⅰ [2]            兼修スペイン語Ⅰ [1]   兼修スペイン語Ⅰ [2]            兼修フランス語Ⅰ [1]   兼修フランス語Ⅰ [2]            兼修ドイツ語Ⅰ [1]     兼修ドイツ語Ⅰ [2]</p> <p>(Ⅱ階程)</p> <p>兼修ロシア語Ⅱ [1]      兼修ロシア語Ⅱ [2]            兼修中国語Ⅱ [1]      兼修中国語Ⅱ [2]            兼修スペイン語Ⅱ [1]   兼修スペイン語Ⅱ [2]            兼修フランス語Ⅱ [1]   兼修フランス語Ⅱ [2]            兼修ドイツ語Ⅱ [1]     兼修ドイツ語Ⅱ [2]</p>
全学共通科目 (各科目2単位。 ただし、「スポーツ方 法1」・「スポーツ方法 2」のみ各1単位)	<p><b>【人文領域】</b>            宗教学入門、宗教学基礎論、哲学概論、日本思想史、西洋哲学史、ジェンダー論入門、社会学入門、社会学、ヨーロッパ地域論入門、ヨーロッパ地域論、文化人類学1、文化人類学2、アジア言語文化の諸問題、西洋史、日本史入門、日本史、歴史学入門、言語学入門、日本語学概論1、日本語学概論2、日本語の形と意味、日本語の文法、日本語の多様性、日本語の音声、日本文学論入門、日本文学論、日本文化入門、近現代日本社会入門、日本文化入門「第3」1、日本文化入門「第3」2、言語学基礎論1、言語学基礎論2、言語類型論、歴史言語学、音声学1、音声学2、古典語(ギリシャ語)1、古典語(ギリシャ語)2、古典語(ラテン語)1、古典語(ラテン語)2、日本語教育の基礎、外国人学習者の観点から見た日本語</p> <p><b>【社会科学領域】</b>            憲法1、憲法2、現代の法、現代の政治、現代の経済、現代日本経済論1、現代日本経済論2、ミクロ経済学1、ミクロ経済学2、マクロ経済学1、マクロ経済学2、刑事法、経済経営入門、簿記原理、日本と世界1、日本と世界2</p> <p><b>【自然・人間科学領域】</b>            自然の認識1、自然の認識2、数理の世界1、数理の世界2、統計学1、統計学2、情報科学概論1、情報科学概論2、情報科学概論3、人権論、人権教育、人間形成論入門、人間形成論、社会心理学入門1、社会心理学入門2、臨床心理学入門1、臨床心理学入門2、児童英語教育、スポーツ文化論1、スポーツ文化論2、スポーツ方法1、スポーツ方法2、ジャーナリズム論1、ジャーナリズム論2</p>

## 【お問い合わせ】

神戸市外国語大学 学生支援・教育グループ 教務入試班

TEL: 078-794-8133 E-mail: info-kyomu@office.kobe-cufs.ac.jp